

# 令和3年度 敦賀西小学校スクールプラン

## 敦賀市「知・徳・体」令和プラン

～ふるさと敦賀を愛し、  
知性に富み、心豊かで、  
健康な人の育成～

**知**：学びを通して考える力

**徳**：内面を豊かにする力

**体**：たくましく生きる力

### 【地域・家庭の願いと教師の使命】

【地域】地元で活躍できる人材を育成してほしい

【家庭】夢や希望をかなえるために学力を保証し社会性を養ってほしい

【教師】学力の定着と規範意識の醸成

学校の教育目標 「心やさしく たくましく 自ら求めはげむ子の育成」

目指す児童像 「求める子 やりぬく子 伸びる子」

### 知 「求める子」

【確かな学力】

- 【授業実践】→学ぶ意味と喜びを実感
- 【基礎基本の徹底】→主体的・対話的で深い学びを支える基礎学力を定着
- 【学習の習慣化】→家庭学習を充実
- 【言語環境】→正しく豊かな言葉の力

#### ◎「自ら考える力」を育む授業

- ・自己思考と対話の充実
- ・端末の積極的活用による学びの充実
- ・意欲を引き出す課題設定の工夫

#### ◎「解きたい」を生む評価と指導

- ・各種調査に基づく弱点の継続的対策
- ・定着度を確実に測る評価方法の研究

#### ○学習を習慣化する家庭学習の充実

- ・「進んで学ぶ」学習課題の工夫
- ・習慣化に向けた家庭との連携および啓発

#### ◎豊かで正しい言葉を獲得する読書指導

- ・必読図書による積極的な図書館教育

算数の勉強がすきと答える児童…90%  
単元末テスト(算数)で平均80点以上  
本の貸出冊数年間一人平均100冊以上

### 体 「やりぬく子」

【たくましい気力と体力】

- 【挑戦力】→失敗を恐れず挑戦する心
- 【持久力】→健康で根気力を育む継続的な体力づくり
- 【危機回避能力】→自己の安全を守り危険予知判断ができる防災・安全教育

#### ◎「挑戦意欲」と「達成感」を経験させる

- ・挑戦する機会を与え、やり遂げる喜びを味わえる学校行事の創出

#### ◎強い心を育む基礎体力と運動能力向上

- ・体育の授業や業間活用による体力づくり

#### ○学びを支える基本的な生活習慣づくり

- ・「早寝早起きしっかり朝食」の励行
- ・栄養教諭との連携による食育の充実

#### ○命を守る意識を高める安全教育の推進

- ・交通安全指導の強化と学校事故の防止
- ・防災意識の向上と危機回避能力を高める訓練および指導の充実

マラソンやなわとびの自己目標達成 90%  
校内での事故 10 件以内、交通事故0件  
教室からの避難経路を言える…100%

### 徳 「伸びる子」

【他者を思いやる心】

- 【尊重と思いやり】→自他を大切にし、人権と多様性を尊重し合う集団づくり
- 【義務と責任】→なすべきことをやり遂げ自己の言動に責任が持てる個の育成
- 【コミュニケーション】→明るい挨拶と返事

#### ◎誰もが活躍できる学級集団づくり

- ・いじめをおこさない見逃さない学級経営
- ・他者の立場を尊重できる人権教育の充実
- ・不登校の未然防止と相談活動の充実
- ・個性を認め合う特別支援教育の推進

#### ◎自治の精神の育成

- ・児童会活動を活性化し、自治的活動を通して義務や責任感、規範意識の醸成

#### ○命の大切さを学び共有する授業実践

#### ○心をつなぐ挨拶の輪の広がり

- ・「明るく・いつも・先に・続けて」

#### ○学びを生かしたSDGsの取組

学校に行くのが楽しいと答える児童…95%  
いじめ解消 100%、新しい不登校0人  
自分から挨拶ができる子…90%以上

### 連携 「西はひとつ」

【家庭・地域との連携】

- 【目的の共有】→教育課程の目的を、家庭・地域・学校で共有し、役割を分担
- 【連携の強化】→保幼小および小中連携
- 【ふるさと意識の醸成】→ふるさと学習 外部講師の活用、地域教材の発掘

#### ○地域との連携による開かれた学校づくり

- ・積極的な学校公開（オープンスクール、学校行事の公開）と情報発信（HP）
- ・見守り隊、学校ボランティアとの連携
- ・児童の円滑な入学・進学のための保幼小の接続と小中の連携の強化
- ・関係機関との連携による指導の充実

#### ◎ふるさと教育と体験学習の充実

- ・ふるさと教材を使った敦賀を知る授業
- ・地域人材を活用したお仕事体験

#### ○適切なネット利用態度と情報モラル向上

- ・ゲーム等依存、SNS適正利用を知る授業

地域の人をゲストティーチャーとして活用した…  
各学年2回以上  
ネット利用ルールを守ることができた…85%

### 【研究主題】

#### 「自ら考える力」を育む授業づくり

～「解きたい」「考えたい」を引き出す算数科の実践を通して～

- ・職員会議の見直し＝協議事項を精選するとともに、校務支援システムの積極的、日常的な活用により、連絡および情報発信・共有の効率化を図り、会議時間を短縮する。
- ・組織の見直し＝学団会議により迅速に協議を行い、課題解決や改善を加速させる。また、チームによる業務の遂行を励行し、チームワークの質的向上を図る。
- ・業務の見直し＝計画性と優先順位を重視した自己業務改善の励行と推進